

宿泊療養施設の緊急改善策

京都府が運営する新型コロナウイルス感染症の感染者宿泊療養施設における死亡事案を踏まえ、速やかに着手できる改善策を検討したもの

課題

パルスオキシメーターの操作方法

- ・ 数値が読みやすくなるよう動脈血酸素飽和度 (SpO2) と脈拍数 (PR) の表示位置が切り換わる機種があり、PR値をSpO2値と読み誤るリスクがある。

連絡がつきにくい方への対応

- ・ 安否確認手順書に、繰り返しの問い合わせに回答がない場合の具体的な対応方法、実施する時間が定められていない。

症状等の情報共有

- ・ 宿泊療養施設入所後の症状や健康観察で得られた情報について、入院医療コントロールセンターとの間での共有方法がルール化されていない



改善後

操作手順の再徹底、反転しない機種へ統一

- ・ パルスオキシメーターの操作手順の周知徹底 (療養者には丁寧に説明)
- ・ SpO2値/PR値が反転しない機種に統一

居室への緊急立入基準を規定

- ・ 緊急入室する場合の基準 (連絡がつかなくなったからの経過時間等) を定め、異変の有無を速やかに確認

兆候を見逃さないよう情報を共有化

- ・ 重症化の兆候を見逃さないよう、高熱が続いたりSpO2が一定値を下回る療養者情報を、入院医療コントロールセンターとの共有 (方法をルール化)